

KINDAI CARELINK



April.2021 Vol.20

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL 地域連携広報誌

脳神経内科

Department of Neurology



脳神経内科 主任教授

永井 義隆 Yoshitaka Nagai

Profile

1990年大阪大学医学部卒業後、同院にて勤務。
その後、大阪府立成人病センター、
米国留学（デューク大学メディカルセンター）を経て、
2016年より大阪大学 神経難病認知症探索治療学寄附講座教授、
2021年1月から当院脳神経内科 主任教授に着任

2021年1月より脳神経内科の主任教授として着任いたしました永井 義隆です。初代の高橋 光雄教授が開拓され、第2代目の楠 進教授が育て上げて来られた教室を、さらに発展させて、認知症や神経難病の治療薬開発にも力を注ぎたいと考えております。
引き続き地域医療に貢献できるように精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



国内唯一の臨床＋基礎融合型

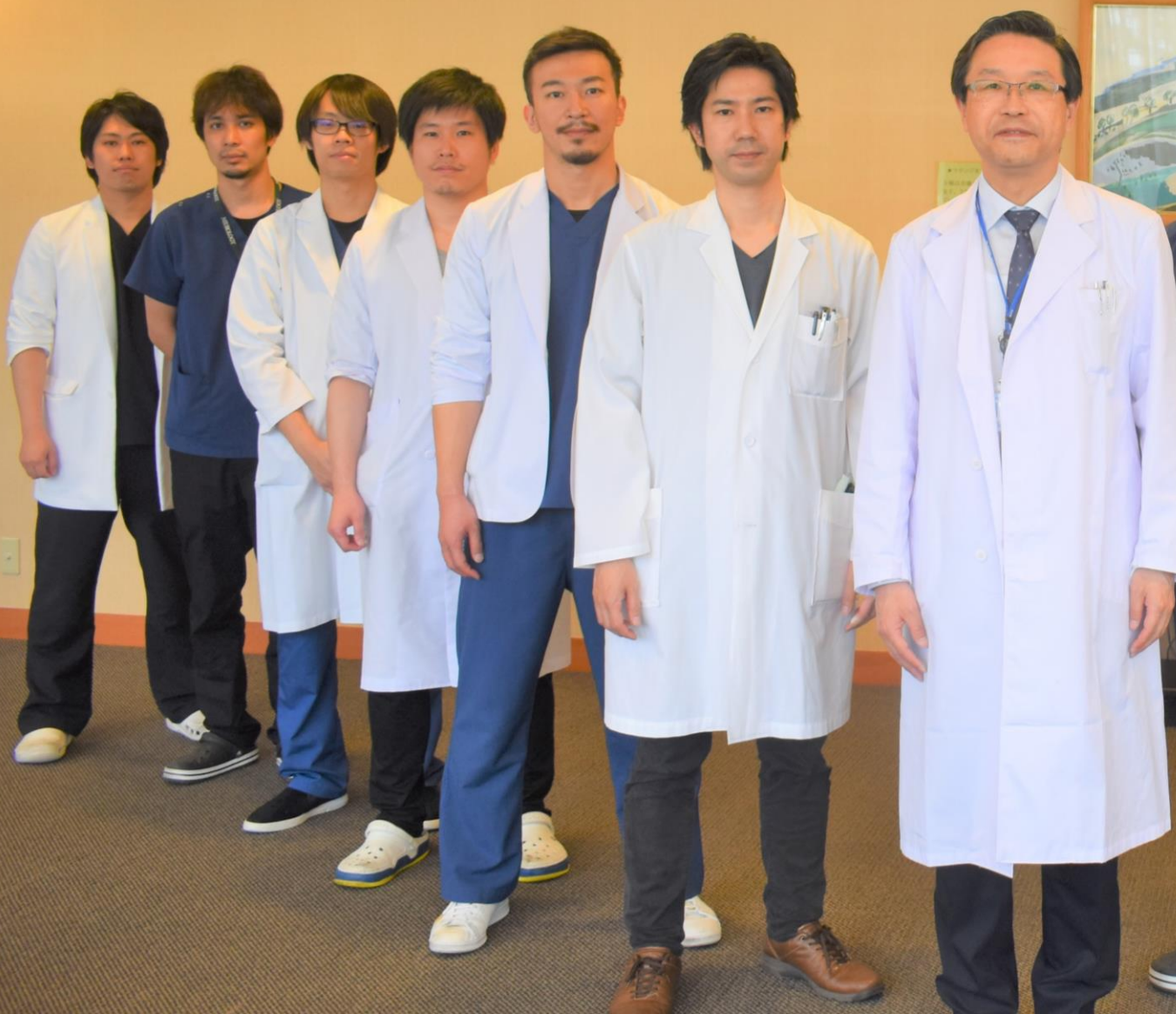
専門分野

－ 認知症や神経難病の治療薬開発 －

脊髄小脳変性症の治療薬開発

脊髄小脳変性症は、小脳などの神経細胞の変性により歩行時のふらつき、ろれつが回らないなどの運動失調をきたす疾患です。最も多い遺伝子変異はCAG繰り返し配列の異常伸長（約40回以上）で、変異遺伝子から産生される異常伸長ポリグルタミン鎖を持つ変異タンパク質が、アルツハイマー病、パーキンソン病など他の神経変性疾患の原因タンパク質と同様に、脳内で凝集して神経変性を引き起こします。私たちは数多くの化合物をスクリーニングし、アルギニンがポリグルタミンタンパク質の凝集を防ぐ作用を持つことを発見しました。アルギニンを脊髄小脳変性症マウスに投与すると、運動失調が改善することを確認し、2020年度から脊髄小脳失調症6型患者さんへのアルギニンの治験を開始しました。

地域医療に貢献し、最新の医療を世界へ発信する脳神経内科



免疫性ニューロパチーの病態解明と新規治療への取り組み

免疫性ニューロパチーのギラン・バレー症候群や一部の慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー、多巣性運動ニューロパチーでは、ガングリオシドや蛋白などの末梢神経構成成分に対する自己抗体が検出され、診断マーカーとして有用であることが知られています。私たちは免疫性ニューロパチーの病態解明に取り組んでおり、これまで多数の自己抗体を同定して診療に役立ててきました。また、ギラン・バレー症候群では自己抗体を介在した補体の活性化が神経障害の機序に関与しており、近年は補体を標的とした新規治療の開発が注目されています。当科ではギラン・バレー症候群に対する抗C5モノクローナル抗体など、免疫性ニューロパチーにおける新規治療の治験を行っています。



脳神経内科のプロフェッショナル

近畿大学医学部脳神経内科は、関西地区ではいち早く独立した神経内科教室として1988年に開設。以来、神経変性疾患、免疫性神経疾患、脳血管障害、末梢神経障害、筋疾患など多岐にわたる神経・筋疾患の診療・研究・教育に取り組んでまいりました。特に、免疫性ニューロパチーの研究では国内外でトップレベルの脳神経内科教室として実績を積み重ね、さらに学際的な基礎研究メンバーを迎えて、神経変性疾患・認知症の治療薬開発研究を展開する、国内唯一の臨床と基礎とが融合した脳神経内科教室へと発展を遂げています。診療・教育においても、若手医師の自立性を重視して優れた脳神経内科医を育成し、南大阪地域の医療に貢献していきたいと考えています。



脳神経外科
主任教授 高橋 淳

×

脳神経内科
主任教授 永井 義隆

脳神経外科×脳神経内科、新体制で専門医による高水準な治療を

Intoroduction of medical corporation system

連携医登録・ICT地域医療連携について

○ 連携医登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病病連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

○ ICTを利用した地域医療連携ネットワークシステムについて



概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報（カルテ情報、画像、レポート等）の共有が可能になります。情報提供施設（近畿大学病院）は、「SS-MIX2 標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開（24時間情報閲覧可）

セキュリティーについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間はIPSec-VPNを利用して高度なセキュリティーが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】については、お問い合わせください。

情報参照していただけるもの

● 病名 ● 処方歴 ● 検歴 ● 各種オーダ情報 ● サマリー ● 画像情報 ● 各種レポート

その他

- ・ 当院へ通院歴のある患者から同意をとっていただき、同意書を近畿大学病院地域連携課までFAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。
- ・ 施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。（診療情報提供料（I）を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ）
- ・ 2018年8月よりこのシステムを利用し、常時診察予約を取得いただける機能を追加いたしました。

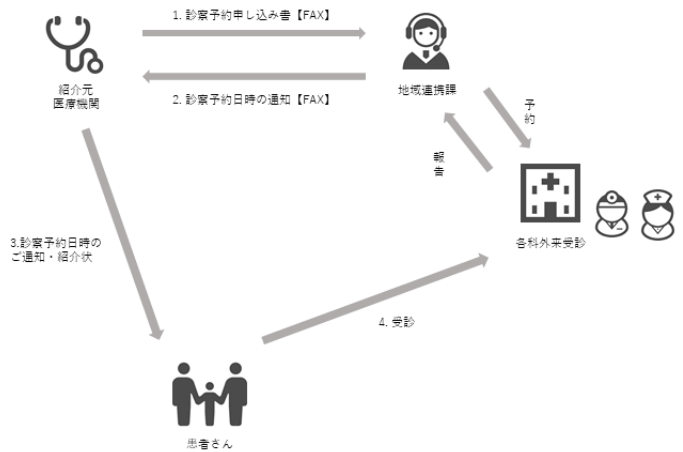
ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。



紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
2. 患者さんのご希望の日時で予約をとり、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
3. 患者さんに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課

直通TEL 072-366-0241

FAX 072-365-7161

(紹介予約に関するお問い合わせ)

緊急患者紹介方法について

地域連携課

072-366-0257

直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター【24時間体制】

072-366-0250

重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

脳卒中コール【24時間体制】

072-366-0920

脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

ハートコール【24時間体制】

0120-145-810

狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール【24時間体制】

072-366-0133

産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さんで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さんをお迎えにあげます。

ハートコール 心臓血管センター【24時間体制】

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221（内線3138）